富山大学第１体育館・武道場改修

University of Toyama Arena No.1・Martial Arts Gymnasium Renovation

建物概要案内図

建 設 地 ：富山県富山市五福3190（富山大学五福キャンパス）

建物名称	第１体育館	武道場
建築面積	1,324.24 ㎡	583.70 ㎡
延床面積	1,314.28 ㎡	557.24 ㎡
改修面積	1,314.28 ㎡	557.24 ㎡
階　　数	地上1階	地上1階
構　　造	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造

基本設計：富山大学財務施設部施設企画課施設計画チーム

実施設計：株式会社 鈴木一級建築士事務所

工事監理：富山大学財務施設部施設企画課施設計画チーム

施　　工：名工建設 株式会社

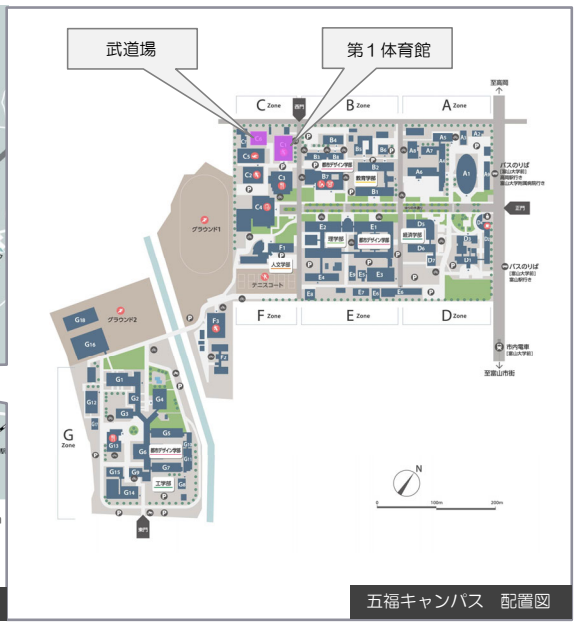
工　　期：令和 7年 8月～令和 8年 3月

キャンパス案内

富山大学五福キャンパス



五福キャンパス　案内図



五福キャンパス　配置図



第１体育館 外観イメージ



武道場 外観イメージ

UNIVERSITY OF TOYAMA 富山大学

2025.6

整備概要

誰もが安心して利用できる持続可能な施設整備

本事業は、正課（授業）で利用する学生はもちろん、課外活動で利用しているサークルに対してより良い環境での活動を提供することを目的とし、経年（55年）による老朽化・機能劣化の解消を図るものである。

また、令和６年能登半島地震では発災直後、近隣に住む学生等が避難してきたことから、今後の震災対策として学内の一時避難施設としての活用も期待できる。

各建物の環境負荷低減及び快適な室内環境を目指し、屋根及び外壁は外断熱を行い、外部建具はLow-E複層ガラスを採用することにより、断熱性能の向上を図った。

地震時に転倒する恐れのある、コンクリートブロック壁については、撤去又は鉄骨補強を行い、安全・安心な体育施設の整備を行った。

省エネ計画

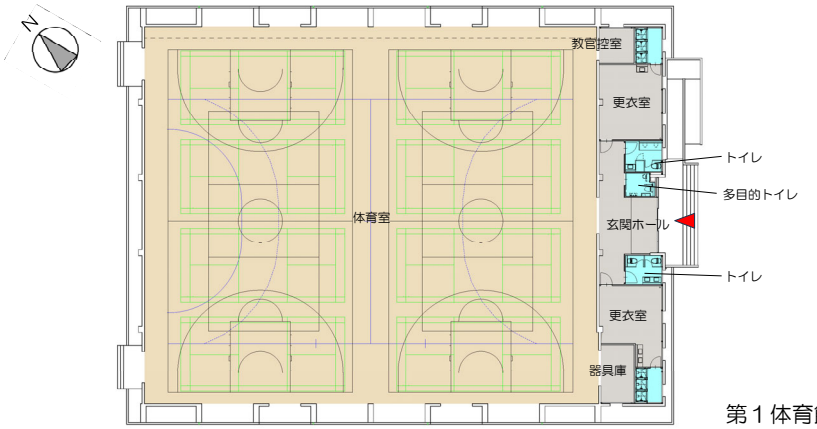
環境に配慮した設計

1)Low-Eガラス、外断熱(屋根・外壁)による断熱性の向上
2)体育室のフローリングを弾性ビニル床シートに更新を行いメンテナンス性の向上
3)外観デザインを紫外線反射率の高い白基調とし、劣化防止対策を行った
4)修繕時に処分材を発生させにくい内装材を選定し、環境配慮を行った
5)省エネルギー性に配慮した照明器具のLED化

第１体育館

一時避難施設の機能を持たせた体育施設への改修

床の段差解消、スロープ整備、トイレの洋式化、多目的トイレの新設等により、バリアフリー化及び利便性向上を行った。また、体育室の床をフローリングから弾性ビニル床シートへ更新することにより、フローリングのササクレによる怪我のリスクを回避するとともに、併せて冬期の床冷え対策を図り、一時避難施設としての機能を持たせた。



第１体育館

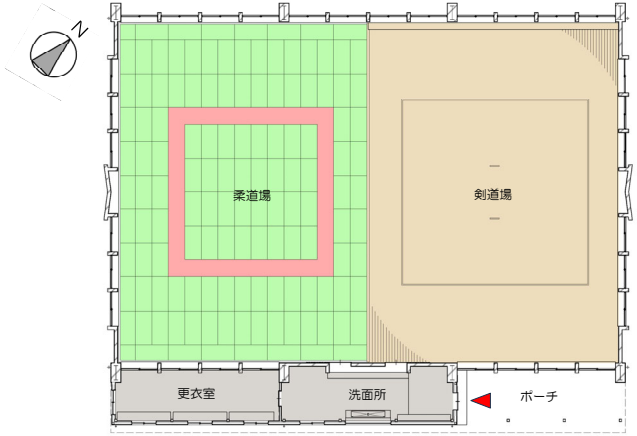


第１体育室利用イメージ図

武道場

建物の機能向上及び安全かつ快適な施設環境への改修

洗面所と更衣室の間の段差を解消するとともに、更衣室における視線対策を講じることでプライバシーを確保した。併せて、柔道場床については束部分から改修し、競技に必要な反発性を確保し、剣道場床についてはウレタンオイル塗装への改修により、競技に求められる摩擦力を確保するなど、学校施設の機能向上と教育環境の改善を図った。



武道場



武道場利用イメージ図